

福音の園だより



特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
〒350-0016 川越市木野目 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111 Fax. 049-230-1112

ごあいさつ

創立 22 周年を迎えて――

「オンリーワン」を目指して

特定非営利活動法人
福音の園・埼玉
理事長 杉澤 卓巳



「キリスト教精神による高齢者福祉事業を行い、社会福祉の向上に寄与したい」と発起人らが結集。2004 年 1 月 27 日「NPO 法人」認可。団体名を「福音の園・埼玉」、開設する施設名を「グループホーム福音の園・川越」とした。「福音の園を商標登録」しオンリーワンを目指した。発起人らの要請を快諾し、私は社福）軽費老人ホーム（ケアハウス）相談員職を辞し、妻も市内老人保健施設・介護主任職を辞し、二人三脚で同年 10 月 1 日、市内「南古谷生活圏域」に「認知症対応型共同生活介護施設：グループホーム福音の園・川越」が指定認可され、開園した。

開園当初は、「福おんの園さんですか？」と訊ねられ、その都度「福いんの園です」と応えていた。地域と共に、地域の資源人財を活かす「地域密着型事業」に苦心した。そんな折、小規模事業所で「勤続 10 年在職者 14 名表彰（複数年）」を、加入するグループホーム協議会が埼玉県担当課へ推挙下さり、思いがけず「平成 27 年度介護職員確保・定着の為に優れた取組事業所」表彰していただいた〔直近、勤続 20 年は 4 名〕。

2019 年 4 月 1 日、第二事業所「グループホーム福音の園・川越第二」を開園。念願だったと

埼玉県認定：シニア活躍推進宣言企業
平成 18 年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成 27 年度「介護職員確保・定着の為に優れた取組」表彰

ころ本年 4 月、両事業所共「新管理者による新体制で事業継承」をスタートさせることができた。「新管理者による新体制」で懸念していたのが、目指してきた「オンリーワン」が果たして継承されるのか？ 心配は杞憂。心配無用だった！

先月、第二事業所「9 月定例スタッフ研修・会議」では年間研修計画に従い『看取りケア研修（座学・グループワーク）』を全員参加し行った。グループワーク後、新管理者が次のようにまとめてくれた。「これまで勤めたグループホームでは看取り死去後、誰にも告げず搬出してた。福音の園では入居者、職員が玄関からお別れしている。家族ならみんなに知らせてお見送する。自分は福音の園のやり方が望ましいと思った…。」

病院では死去後「病室から霊安室へ移され、死亡診断書を受け取り、病院裏口から搬出」する。福音の園では「玄関から入居」されたお一人ひとりと四季折々に共同生活を過ごす。在園中、工面しながら納めて下さった利用料で全従業員の給料が賄われている。人の道、至極当然な「感謝」を忘れぬように「玄関からお見送り」したい。「〇〇〇さんは 94 歳の時にご入居されました。来月、満 105 歳をお迎えになるところ、昨日、〇〇時〇分、安らかに召されました。先に逝かれたご主人の待つみにへ旅立たれました。皆さんと聖書の時間に歌ってまいりました『いつくしみ深き』を歌って、最後のお別れをさせていただきます…。」（以前、お見送りした方の事例）。

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目のめ 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111



◆「夏祭り」の賑わい

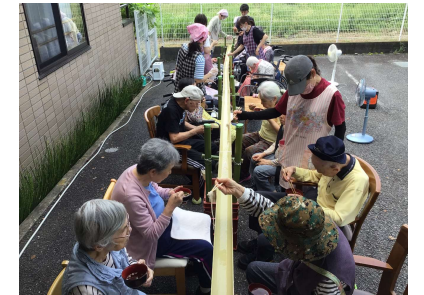
以前は隣接する「男塚公園」で自治会の夏祭りが行われていましたが、コロナ禍以降は休止となっていました。そこで、手作りの「夏祭り」を開催しました。今夏も酷暑が続き、屋外に出ることも危険な状況です。屋内での「夏祭り」です。利用者さんとスタッフの見事な連携で、いろいろと準備を整え、当日は屋台、ゲーム、盆踊り…を皆さんで楽しみました。貴重な夏の思い出です。



◆「流しそうめん」を楽しみました♪

まだまだ猛暑が続く 9 月半ば、玄関前の広場で「流しそうめん」を開催しました。最高気温は 32.8℃と猛暑にはならず（それでも暑い！）、扇風機もフル回転で、涼を楽しみました。皆さん、いつもよりたくさん召し上がっていました。2004 年の開設時から園芸療法（園芸福祉）活動

でお世話になっている「NPO 法人 土と風の舎」のご協力により開催できました。



◆ボランティアさんのご紹介…三原 明子 様

三原明子さんは、本年 6 月から毎月 2 回ほど「傾聴ボランティア」に来てくださっています。ご近所にお住まいで、足取りも軽やかにスタスタと歩いて通って来られていますが、お歳は何と 83 歳！利用者さんは、三原さんが来られるのを楽しみにしています。



Q. 福音の園でボランティアを始めたきっかけは何ですか？

――もともと傾聴ボランティアをしていたことがありました。「福音の園だより」を見て、近くですし、主人も協力してくれるので、始めることにしました。

Q. どうして傾聴ボランティアの働きをされるようになりましたか？

――以前、川越市の「傾聴ボランティア」の講習を受けていましたので、その機会がありました。

Q. ボランティアをしてみて、いかがですか？

――施設は穏やかな雰囲気を利用者さんも落ち着いて過ごしておられます。お話しているときに見せてくださる笑顔が素敵です。

Q. とてもお元気でいらっしゃいますが、元気の秘訣は何ですか？

――楽しいこと、出来ること、やれることが、まだあると思っているからでしょうか。麻雀、朗読、グランドゴルフなどを楽しんでいます。

（文責 管理者 佐川裕明）

グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528



今回は最近の行事の紹介をさせていただきます。

◆懐かしさいっぱい「納涼祭」

8月27日（水）は納涼祭を行いました。納涼祭では食事を屋台風にし、メニューは「焼きそば、フランクフルト、焼鳥、じゃがバター、おにぎり、たこ焼き、から揚げ、チョコバナナ、漬物など」を手作りにて提供しました。普段と違う食事を皆様楽しんでおられました。午後は金魚すくい、射的ゲームを行い、景品で駄菓子を用意しました。皆様、昔の祭りのことを思い出しながらゲームを楽しまれていました。



◆涼を呼ぶ「流しそうめん」

9月17日（水）は、第一事業所と同じく「NPO法人 土と風の舎」による「園芸療法」にて「流しそうめん」を行いました。皆で列を作り、そうめんを必死（!?）に取っていました。そうめんの他に、鶏、ナス、さつまいも、かき揚げ、ちくわの天ぷらと、畑で採れたゴーヤで「ゴーヤチャンプルー」を作って召し上がっていただきました。「ここでお店を出したらきっと売れるよ！」などという声も聞かれました。



夜には花火大会を行いました。花火がきれいに光る度、皆様から大きな歓声が上がりました。



今後も様々な行事を行い、利用者様に楽しんで過ごしていただけるよう努めてまいりたいと思っています。よろしくお願いします。

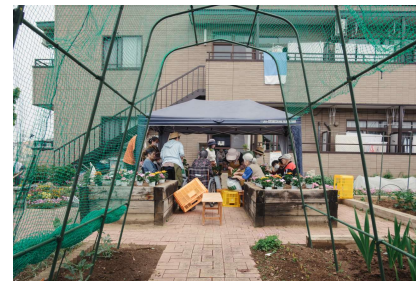
（文責 管理者 山本裕隆）

求人・入居者 募集状況！

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111

- ◆パートさんを随時募集中です。お気軽に見学・相談にお越しください。
- ◆入居者さんは現在満室です（待機者2名）。見学はできますので、ご希望があればご連絡下さい。



グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528

- ◆パートさんを随時募集中です。お気軽に見学・相談にお越しください。
- ◆入居者さんは現在満室です（待機者2名）。見学はできますので、ご希望があればご連絡下さい。



星野富弘詩画作品展【第2期】開催!!

2025年6月より、詩画家・星野富弘氏（2024年4月逝去）の作品を福音の園・川越（木野目）、福音の園・川越第二「寄ってケア室」（萱沼）に展示しています。



10月に展示替えを行います。ご来園の際には、ぜひご覧ください。
福音の園・川越には2点、福音の園・川越第二「寄ってケア室」には8点展示予定です。

展示作品の一つをご紹介します。



すいせん 1986年

幸せという 花があるとすれば
その花の 蕾のようなものだろうか
辛いという字がある
もう少しで 幸せに なれそうな気がする